

問9. その他、松山駅周辺のまちづくりに対するご意見、ご質問がありましたらご自由にお書きください、ご質問に対しては、可能な限りホームページで回答します。

No	記 述 内 容	回 答
1	<p>駅・その周辺には熱い思いを持っています。ロマンを感じます。 駅は、旅のスタート地点として、旅の終わりの余韻を感じる場所。大手町の広い道路から、正面を見たとき、夢を感じます。周辺整備ができ、あの広い歩道が、どんなに生かされるか。駅前に広場ができたとき、若者も高齢者も、何か心ときめくものを持つに違いありません。今日は高架の話が出ませんでした、次もぜひ出席したい。</p>	<p>広く市民の皆さまの関心と参画を得てまちづくりを進めたいと思います。そうした機会にはぜひご参加ください。</p>
2	<p>開発＝ビルありき、駅＝街の中心という先入観を持っていましたが、今回話を聞いて考えが変わり、大変勉強になりました。</p>	
3	<p>県都松山、四国の雄都として非常に遅れている。ふさわしい都市整備の中核施設として期待。 来松者のイメージアップ改善を求める。良好な環境に整備。</p>	
4	<p>城山をメインとした空間を作って欲しい。 高層ビル・マンションの制限をして欲しい。 →駅を降りた時、お城が城山・お堀が目飛び込んでくる風景</p>	
5	<p>子供、老人、青年の憩いの場所が欲しい。</p>	
6	<p>持続的に発展し、活力、にぎわいを保つことのできるまちづくりを目指していただきたい。</p>	
7	<p>景観（特に駅からの松山城の見せ方）に配慮した街になるようなしくみが必要。効率優先ではなく、100年後も残せるようなものを創るべき。</p>	
8	<p>何でも大きくするのがベストではないと思う。身の丈ほどでよいと思う。しかし、利便性と美しさとか発展とか、少しでも進歩して欲しい。余りムリしてもダメだと思う。</p>	
9	<p>高齢化社会に対応できる駅、松山らしい外見、城とマッチする駅。市民が憩える空間がほしい。</p>	
10	<p>松山の街を誇れる市民の生活、利用しやすい周辺まちづくりをお願いしたいと思います。 今後も市民参加の会を設定して頂きたいと思います。</p>	

11	市民にとって何が一番必要かを第一に考えて進めて欲しい。利権におぼれた計画、開発はNGです。	
12	J Rから降りた時、どこの街も同じとは思われたくない。街が文学で広めたいなら、さすが「文学の街」と歴史ある場所と感じられるように。	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・市内や、道後温泉、空港、港への乗り継ぎ・アクセスを重点に考えるべき。施設は知らない。 ・市内電車やバスへのやさしい使いやすいアプローチをお願いします。 ・空き地はとりあえず公園にでもして、どうするか、ゆっくり考えましょう。 	
14	基調講演では、松山市がどのように再開発していくか、ビジョンが分かり、とてもためになりました。人口問題を考えて進めていくことが大切だと分かりました。	
15	都心居住を促進するために必要な医食住を充実してほしい。また、駅周辺ですべてが、まかなえるようにして欲しい。	
16	貴重で楽しいお話をありがとうございます！	
17	百年の大計を持って、あせらずじっくり検討。まずは地元の合意形成をなし遂げた上に利用者、各事業者共々活性化できるような開発を期待する。	
18	市民の参加がまちづくりにとても大切だということがひしひしと伝わってきた。大規模な店をつくるのではなく、今ある商店街などを支援していくことが大事だと思った。	
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R松山駅の利用を想定した場合、電車の本数の少なさもあり、あまり頻度は高くないと考えられるので、利用者数や年齢層にあった必要な施設を持っているだけで良いのではないかと思います。 ・ 周辺の整備とともに特にJ Rの利便性も高める必要があるのではないかと思います。 ・ 今後の日程・完成までのステップがいつ、どのようになっているのか気になりました。 	<p>広く市民の皆さまの関心と参画を得てまちづくりを進めたいと思います。こうした機会にはぜひご参加ください。</p> <p>なお、鉄道高架及び土地区画整理事業は、平成32年度の完成を目標に一日も早い完成を目指して事業を進めてまいります。</p>

20	<p>基調講演の中でも強調されたが、30年後の超高齢社会に対応した街づくりという点においては同じ思いです。しかし、その30年後の現役世代は、年金もおぼつかない経済的にきびしい世代でもあります。289億円+αという事業費は、借金による部分も含んでおり、その若者世代に負担をかけないことを第1に考えるべきではないか。この点についてもっと情報公開し、コンセンサスを得なければならぬと考えますが、いかがですか。</p>	<p>松山市は皆さまに最も身近な基礎的自治体として様々な行政需要への対応を行っています。少子高齢化社会の進展に伴い増加する社会保障費などが行政経費を圧迫する恐れがあります。一方で老朽化した都市施設などを更新・改良して、将来にわたりまちの活力を維持・発展させることは重要です。このため、やるべきことはやるが削るべきことは削るとの姿勢のもと、常に事務事業を見直し、必要な事業には、国からの補助金、基金の積立て、起債なども活用して、世代間の負担の公平化と着実な事業の推進を考慮して安定的な財政運営を図っており、毎年財政事情を公表しております。松山駅周辺のまちづくりについてもこれまで通り事業費も含めた情報公開に努めてまいります。</p>
21	<p>早く実施してほしい。</p>	<p>鉄道高架事業及び土地区画整理事業は、平成32年度の完成を目標に一日も早い完成を目指して事業を進めてまいります。</p>
22	<p>路面電車をよく利用するが、高齢者や幼児が快適に利用しているようには見えない。利用促進の前に、現状をもっと調べてみる必要がある。</p>	<p>まちづくりは関係事業者との協議が重要です。こうした要望につきましても検討してまいります。</p>
23	<p>1. 空地の有効利用が必要 2. 低い建物の建替え必要（住んでる人が引越さなくて有効活用できる建物の検討必要） 3. 住民（高齢者）が交流できる場所作り切望 4. 昨日のNHKだったと思いますが、松坂市長の市政全面に対する赤字解消、徹底した情報公開に対する取組みについて参考にして下さい。</p>	<p>よりよいまちに向けて地権者や関係事業者をはじめ広く市民の皆さまの参画を得てまちづくりを進めてまいります。松山市はやるべきことはやるが削るべきことは削るとの姿勢のもと、常に事務事業を見直し、必要な事業には、国からの補助金、基金の積立て、起債なども活用して安定的な財政運営を図っており、毎年財政事情を公表しており、松山駅周辺のまちづくりについてもこれまで通り事業費も含めた情報公開に努めてまいります。</p>
24	<p>歩道・車道・自転車道の導入に関して、平和通りの配置を参考にしてみてもどうでしょうか！？とても走りやすそう。JR利用促進の為に、駐車場を安く、置きやすい配置を考えて欲しい。</p>	<p>松山駅周辺の幹線道路は、歩行者、自転車それぞれ安全で快適に通行できる十分な幅を確保する計画です。今後、皆さまのご意見も参考に具体的な計画を検討したいと考えております。駅利用者の駐車場は、新しい駅前広場において確保する予定です。具体的な内容は、今後、皆さまのご意見も参考に検討してまいります。</p>

25	<p>県都松山の陸の玄関口にふさわしい街づくりを望みます。それに加えて、JR自体の利便性、機能の向上を望みます。たとえば、高速化、松山ー西条間の短絡化</p>	<p>まちづくりには関係事業者との協議は重要です。こうした要望はJR四国へお伝えします。</p>
26	<p>・ 駅周辺、全体の使用目的（詳細な）を立体的な図で早く示して欲しい。それによって、今後の住居の有り方を考えたいと思う。今だに各土地の使用目的が見えない。（環境、日照）協力しても、条件が悪くなるようでは、問題外だと思う。 ・ 西口の最西側の道路に車道と歩道の区分けが必要ではないですか。計画の6mでは、歩行者が危険である。</p>	<p>今後、駅周辺の健全な市街地形成を図るために都市計画法における用途地域を事業の進捗に合わせて見直す予定です。それぞれの用途地域により土地利用が規制されますが、逆に日照などの環境が確保されます。 駅の西側は、主要な道路には歩道を設けるとともに、住宅地には地区に用事のない通過交通が入り難い道路の配置計画としております。また、歩行者、自転車専用道路も適宜配置するなど、歩行者の安全性にも配慮した計画としております。</p>
27	<p>地権者だけではない、一般の市民も参加・意見が言える場を設けるルール作りをして欲しい。情報の共有化に努めて欲しい。</p>	<p>広く市民の皆さまの関心と参画も得てまちづくりを進めたいと思います。情報の共有化などはシンポジウムでのディスカッションでも重要と指摘があり、松山市もそれに努めてまいります。</p>
28	<p>愛媛県都の玄関口として、四国で最も整備が遅れているので、早期に着手し完成して貰いたい。仕事、観光において多数の来客があるが、はずかしい限りである。松山城、道後温泉、風情のある路面電車等の資源を更にアピールする為にも利便性を向上しふさわしい玄関にして貰いたい。</p>	<p>鉄道高架事業及び土地区画整理事業は、平成32年度の完成を目標に一日も早い完成を目指して事業を進めてまいります。 駅周辺にふさわしいまちづくりは広く市民の皆さまの関心と参画を得て進めてまいります。こうした機会にはぜひご参加ください。</p>

<p>29</p>	<p>質問①：J R 松山駅周辺のまちづくりのために何故、J R 予讃線と駅の高架化が必要なのか？具体的にその必要性を答えて下さい。</p> <p>質問②：現在までに公表されている J R 松山駅付近連続立体交差事業の事業費は約 3 4 5 億円です。その内、松山市の負担金は 4 0 億円です。4 0 億円の投資効率を具体的・定量的に答えて下さい。</p> <p>質問③：今回のシンポジウムを経ての次のシンポジウムを開いて下さい。</p>	<p>①大都市にとって高速・大量輸送機関である鉄道は必要であります、都市内部を縦断する際の安全性は確保されなければなりません。そのため通常の生活空間から切り離す必要があります。高架あるいは地下化が各地で順次行われています。しかし、その費用も大きなものとなりますので鉄道高架にとどまらず、周辺の既成市街地を時代に合わせて土地区画整理により改変するものです。</p> <p>②愛媛県が取り組んでおります J R 松山駅付近連続立体交差事業は、松山環状線から伊予鉄道郡中線までの約 2. 4 k m の J R 予讃線の鉄道高架化と、車両基地の移転や行違い線区間の整備を図るものです。これにより、8 か所の踏切を除却し、1 日当たり約 3 万台の交通量を 1 7 時間遮断することで生じている慢性的な交通渋滞と、命に関わる踏切事故を解消します。また、土地区画整理事業による都市基盤整備とあわせて、高齢化社会に対応した誰にもやさしい交通結節機能や災害に強いまちづくりと、都市の活力が持続可能なコンパクトな都市構造の実現に大きく寄与することで中心市街地の活性化とそれを支える都心居住の推進を目指しています。本市は、このまちづくりを実現するため県土木建設事業負担金条例に基づき応分の負担を行っており、県の試算では 3 3 億 6 千万円が見込まれます。</p> <p>③広く市民の皆さまの関心と参画も得てまちづくりを進めたいと思います。今後もシンポジウムやセミナーなどを開催してまいりますのでぜひご参加ください。</p>
<p>30</p>	<p>今後の駅周辺、中心地区のまちづくりには「コンパクトシティ」を推進していくことが「かぎ」になると感じました。</p> <p>松山市がコンパクトシティを目指す中で、具体的に今足りないもの、今後高めていけばよいものや、磨いていくべきものを教えてください！</p>	<p>高度成長期以降、各種機関が郊外に移転した諸都市に比べ、松山市の中心地区には城山公園を中心にデパート、商店街などの商業施設や病院、大学、企業オフィス、そして、愛媛県、松山市、裁判所をはじめとする行政機関が集まっています。そして、それらを取り巻き結ぶように路面電車やバスなどの公共交通機関がありますのでまちの形としては「コンパクトシティ」となっています。</p> <p>今後はより集まって住み、各施設を利用、維持しながら少子高齢化社会により対応できるまちとなるよう磨きつづけることが必要と考えています。</p>

31	<p>・社会の高齢化という点から、バリアフリーに重点をおく必要があります。使いやすいものは利用したいと思います。高架にすると、エレベータ、エスカレータの利用になりますが、結局は、利用者の大勢が階段利用となっています。その点はどう考えていますか。</p> <p>・消費税増税が言われているとき、完成までの財源は充分あるのか疑問です。現在の計画の縮小もあるのではと思いますが、どう考えられますか。</p>	<p>・施設はその利用目的を先ず満たす必要があります。そのため、すべてを1階に造ることができない場合もあります。ただし、だれでも利用できるようバリアは無くさなければなりません。そのためにエレベーターなどの設備を用いることは必要と考えます。</p> <p>・家計においても大きな買い物をするとき、例えば家族が増えたり、家が古くなったりして新たに家を建てる時などは、あらかじめ家計簿をチェックし、支出を見直し、貯金を積立て、資金の足りない部分は将来の家族の年齢構成の変化を考慮して収入と支出のバランスを検討し、住宅ローンを組むなど賢い資金計画を立てマイホームを実現したいと思います。松山駅周辺整備事業も、古くなった都市機能を時代に合ったものに更新するため今取り組まなければならない事業であります。松山市はこれらを含め、やるべきことはやるが削るべきことは削るとの姿勢のもと、常に事務事業を見直し、必要な事業には、国からの補助金、基金の積立て、起債なども活用して、世代間の負担の公平化と着実な事業の推進を考慮して安定的な財政運営を図っています。そうして、身の丈に合った規模であり将来の財政負担も考慮した資金計画のもと着実に本事業を進めています。</p>
32	<p>疑問点</p> <p>1. 工事期間、工事費用の概算などが全然不明であり、財政難のところどうなのか。</p> <p>2. アンケートの数が少ない。</p>	<p>1. 松山市の進める土地区画整理事業は平成32年度を完成目標としており、概算事業費は約289億円です。確かに財政状況は今後も厳しさを増すことが予想されますが、そうしたことを前提に松山市全体の行政経費を中・長期的に検討・考慮し、様々な行政需要に対応するための費用のバランスの中で本事業の完成までの資金計画を位置付けており、財政的な裏付けのもと着実な事業の進捗を図っています。</p> <p>2. アンケートは今後も行っています。</p>
33	<p>本村地区がまちづくりの上で分断されている。西地区について、二次計画はありますか。</p> <p>高層マンションを避ける。住民の間に大きな格差がなきように。高層マンションの住民は外に出るのが億劫で町のにぎわいに加わりにくい。</p>	<p>松山駅周辺土地区画整理事業の施行地区より西側は、現在、事業化に向けた具体的な計画はありません。</p>
34	<p>市内電車の西環状線までの延伸が計画されているが、事前にこの間の道路や区画の整備をしておくべきでなかったか。</p>	<p>路面電車の延伸の計画は、駅周辺の土地区画整理事業や駅と環状線を結ぶ道路の整備と合わせて事業化を予定しております。</p>